

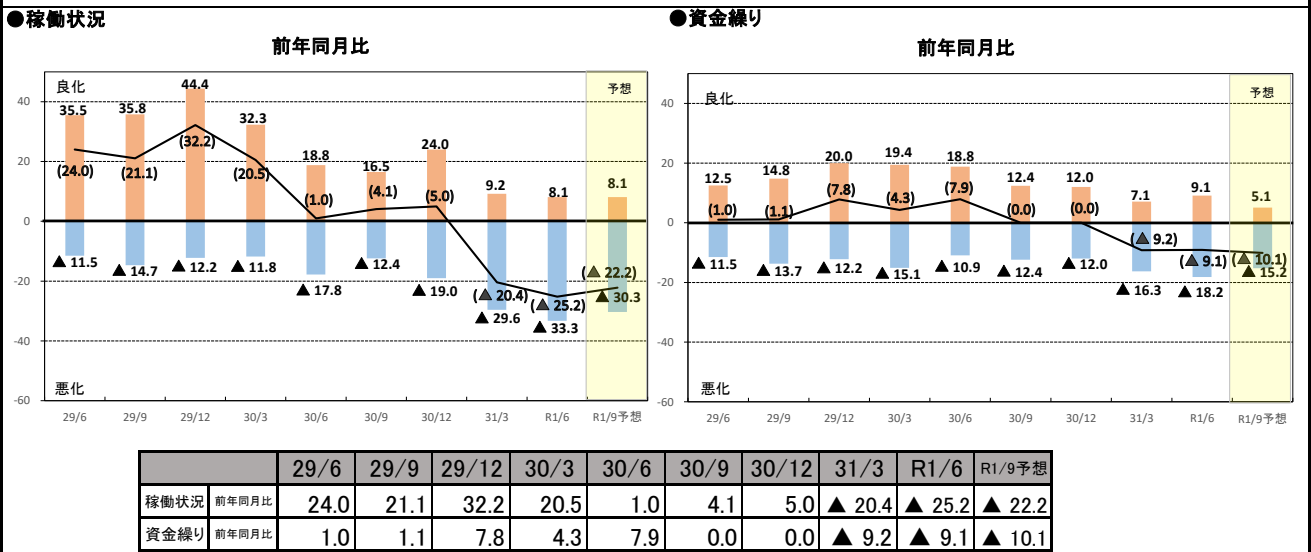
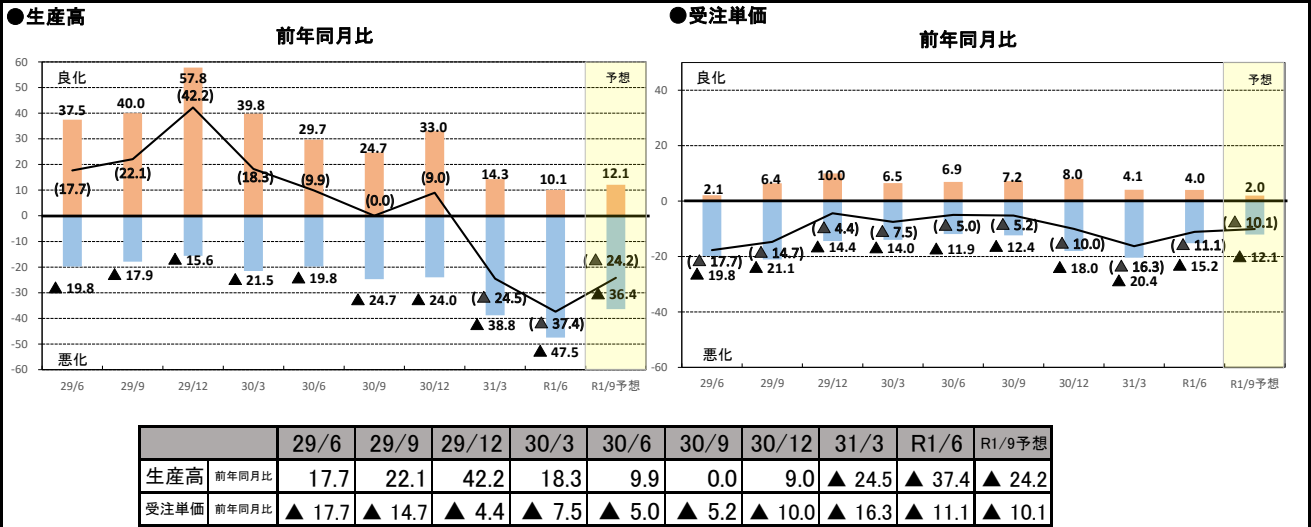
受注企業動向調査結果

-2019.7-

- 調査時点 令和元年6月調査(令和元年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 99社(回答率:66.00%)

<業種内訳>	
プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	7社
金属製品	21社
一般機械器具	21社
電気機器	20社
輸送用機器	6社
精密機器	8社
縫製	7社
計	99社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



- 概要(総合)
- ・生産高(前年同月比)DIは▲37.4で前回の▲24.5から12.9ポイント減の悪化となった。
 - ・受注単価(前年同月比)DIは▲11.1で前回の▲16.3から5.2ポイント増で悪化ながら改善となった。
 - ・稼働状況(前年同月比)DIは▲25.2で前回の▲20.4から4.8ポイント減の悪化となった。
 - ・資金繰り(前年同月比)DIは▲9.1で前回の▲9.2から0.1ポイント減の悪化となった。
 - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲24.2で13.2ポイント増の改善、受注単価は▲10.1で1.0ポイント増の改善、稼働状況が▲22.2で3.0ポイント増の改善、資金繰りは▲10.1で1.0ポイント減の悪化という予想になった。
 - ・その他自由意見として、諸々の値上げで採算面で厳しい、人材不足で先行きが不透明、米中貿易戦争が不安、受注が減ってきているという意見が寄せられた。